

サンシャイン通信

自立・自律・選択

サンシャイン通信は、中牟田小学校の学校運営協議会（地域の方々や学校関係者）による広報誌です。学校運営協議会は、学校・保護者・地域住民等が一体となって、子どもたちを育み、共にある学校づくりを目的としています。

レッツトライ！防災キッズ ～5年生防災学習（地震）～

本年度も、新型コロナウイルス感染症により、いろいろと活動の制限がありますが、皆様のご協力により、学校行事も徐々に進められるようになりました。2学期は、行事やゲストティーチャーを招いての学習など様々な取組が行われました。

10月、5年生の防災学習がありました。東日本大震災と熊本地震の両方を経験された「歌う防災士」柳原志保さんから「防災」について学びました。

- ・ランドセルで身を守る方法
- ・ダンゴムシ体操



大きな地震の時にはその場から動くことができません。さらに、大きな揺れだと立っておくこともできないのです。地震がきたら、上下左右の安全ゾーンを確認し、ダンゴムシのように頭を覆い、丸くなり安全です。～柳原さんの話より～

子どもたちは、「ダンゴムシ体操」をしたり、防災工作（新聞スリッパ）や非常用トイレの作り方について学んだりしました。楽しく、分かりやすく地震の備えについて学ぶことができました。

福岡でも西方沖地震を体験したのは、もう16年前になります。それまで、福岡は大地震がないと言われていました。しかし全国どこでも地震は起こり得るのです。その時にどう動くかシュミレーションできると、慌てずにすむかもしれません。

第1号

令和3年（2021年）12月23日発行
学校運営協議会：広報部

ご家庭でもお子さんと一緒に、災害の備えについて、話題にしてみてください。

コロナ禍における学校行事 ～運動会・学習発表会～

運動会も開催されました。今年は低・中・高学年に分けの開催です。開会式や他学年が競技をしている時は教室でオンラインのビデオをみでの応援です。少ない数の競技ではありましたが、集中して頑張ることができました。

学習発表会でも低・中・高学年で分けての発表でしたが、各学年とも工夫を凝らしての発表が素晴らしかったです。



6年生の発表は、長崎への修学旅行に向け平和への思いをのせた「被爆クスノキ」をテーマにしての発表でした。福山雅治さんの「クスノキ」をやさしく、力強く歌ってくれました。12月の広報「ちくぜん」にも、弥四郎さんと共に特集されています。ぜひご一読ください。このようにコロナ禍の中でも一生懸命取り組む子どもたちを家庭や地域でも応援していきましょう。

タブレットを使ってみました！

学校運営協議会では、毎年学びの場として研修会を行っています。本年度は「ICT教育の推進」についてICT担当教員の平田先生にお話をいただきました。

学校のタブレットを使って図形の問題に挑戦し、線を入れたり色を変えたり、自分が考えた解き方を説明できるようにタブレットを操作してみました。先生のタブレットには子どもたち全員の考えが画面に示され、各々がどのような解き方をしたのかが集約されます。手を挙げなくても全員の考え方が分かるわけです。タイピング練習もでき、子どもたちは我々より一歩も二歩も先を学んでいるのかもしれない。

コロナ禍で変わっていくこと、残していきたいこと様々ありますが、これから変化する社会の中で、未来を拓くたくましい「中牟田っ子」を育むために、これからも学校・家庭・地域が連携し、協働した取組を行っていくことが大切だと思います。

この広報誌は、中牟田小学校のホームページでも見るすることができます。

検索キーワード「筑前町立中牟田小学校公式ウェブサイト」で検索してください。

<http://nakamutaes.chikuzen.ed.jp>